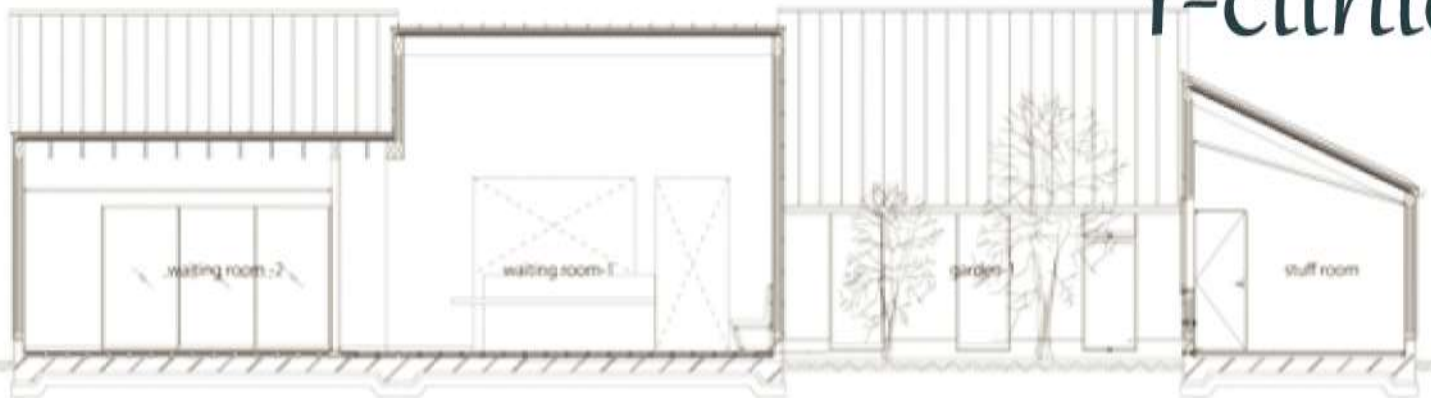




# Y-clinic









待合室-2から待合室-1を見る。



待合室-1：ランダムな開口から北側の安定した光が降り注ぐ。空間全体が柔らかい光に包まれた空間。



待合室-2から待合室-1を見る。建具をすべてあけると一体利用が可能。



待合室-2：切妻の棟。通路の天井のあらわしが中庭までのびる。



待合室1・受付：白い壁と木のコントラストによる内観。異なる屋根が連続する空間。



待合室1、2通路：異なる屋根形状の3つのボリュームを横断する空間体験。



茨城県土浦市に建つ内科クリニックである。長閑な田園風景が広がり、春には桜川の河川敷に桜並木が咲く。

病院建築は、合理性を追求する建築計画学の最たる用途であり、一見建築家の介入する余地はないように感じる。敷地特有の環境条件や自然と呼応することで、病院建築特有の堅苦しさをなくすという問題意識からこのプロジェクトは始まった。

凹凸形状の独特の平面計画は、施主からの要望を実現しながら、この敷地の環境（眺望や採光、通風など）を丁寧に検討を行うことで提示された。大きく4つのボリュームからなるこの建築は、ボリュームごとに異なる屋根を架けている。左から順に、隣地への片流れ・切妻・田んぼ側へ二段階の片流れ・正面側への片流れとなる。無作為に選択されたようなこの屋根は、内部空間のシークエンス・眺望への開放・中庭や各部屋への採光などを手掛かりに決定されている。隣地への片流れは、アパートへの採光確保のための配慮である。平面形状・屋根形状を自然環境との関係で決めていくことで、ここにしかない建築を実現した。

1日の太陽の動きや年間を通しての自然の移ろいによって、建築の表情を変える集落のような佇まいで、この地で長く愛さ続ける建築となることを願っている。

クリニックより嬉しい便りを頂いた。「子どもの泣かないクリニック」として患者から評判になっているとのこと。

これからも、このクリニック、そしてこの街を見守りながら、建築家としてできることを考えていきたい。

Y-clinic

by Kimitaka aoki + ARCO architects.

## フリーデザインに対応できるハーバーストロングルーフ



**EROOF(イールーフ)株式会社**  
URL: [www.eroof.jp](http://www.eroof.jp) / Email: [info@eroof.jp](mailto:info@eroof.jp)

**本 社** ——— 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田4-25-5  
TEL: 092-402-2233 / FAX: 092-402-2241

**関東営業所** ——— 〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-17-13  
TEL: 045-573-3503 / FAX: 045-583-0927

**北関東営業所** ——— 〒329-0205 栃木県小山市間々田2448-5  
TEL: 0285-41-6577 / FAX: 0285-38-7148

### お願いとご注意

本資料に記載されているものは、技術資料製作時において弊社製品の一般的な特性、性能を説明したもので、これによって何らかの保証をするものではありません。本資料に記載されております資料が全地域の環境、使用目的、条件等に対応出来ない事もありますので、ご注意下さい。尚、本資料は予告なしに変更される事もあります。